

平成 27年 06月 05日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

「三重の木」の家

グループの名称

木の郷みえの会

直近採択グループ番号

04-0459-0300

※過去に地域型ブランド化事業で
採択を受けたグループは記入

(グループ代表者)

代表者名

村林 稔

代表者印

代表者所属先

松阪木材株式会社

代表者構成員番号

I-1, II-1, III-1

代表者所在地

三重県松阪市木の郷町21

代表者電話番号

0598-20-1122

(グループ事務局)

事務局事業者名

松阪木材株式会社

事務局構成員番号

I-1, II-1, III-1

事務局担当者名

大道寺 聡

印

事務局郵便番号

515-0088

事務局所在地

三重県松阪市木の郷町21

事務局電話番号

0598-20-1122

事務局FAX

0598-20-1127

事務局担当者E-mail

kinosatomienokai@mienoki.com

1. 地域型住宅の名称(必須)	「三重の木」の家
2. グループの名称(必須)	木の郷みえの会
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0459-0300
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	全国
5. 結成年(必須)	2012 年
6. グループ代表者名(必須)	村林 稔
7. グループ代表者の所属先(必須)	松阪木材株式会社
8. グループ代表者の構成員番号(必須)	I-1, II-1, III-1
9. グループ代表者所在地(必須)	三重県松阪市木の郷町21
10. グループ代表者電話番号(必須)	0598-20-1122
11. グループ事務局事業者名(必須)	松阪木材株式会社
12. グループ事務局の構成員番号(必須)	I-1, II-1, III-1
13. グループ事務局担当者名(必須)	大道寺 聡
14. グループ事務局郵便番号(必須)	515-0088
15. グループ事務局所在地(必須)	三重県松阪市木の郷町21
16. グループ事務局電話番号(必須)	0598-20-1122
17. グループ事務局FAX番号(必須)	0598-20-1127
18. グループ事務局担当者E-mail(必須)	kinosatmienokai@mienoki.com

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	8	
II. 製材・集成材製造・合板製造	17	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	10	
IV. プレカット	5	
V. 設計	12	
VI. 施工	22	
VII. 省エネルギー設備等の流通	1	
VIII. 木材を扱わない流通	0	
IX. I～VIII以外の業種	1	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
	合法木材	国内	合法木材証明制度	3	国内

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 93 戸		地域材加算合計 93 戸	
	経験工務店+未経験工務店の合計			
	うち経験工務店による長期優良住宅 合計	91 戸	うち未経験工務店による長期優良住宅 合計	2 戸
	うち申請が確実	27 戸	うち申請が確実	0 戸
	うち申請が未確定	64 戸	うち申請が未確定	2 戸
			地域材加算(うち申請が確実)	27 戸
		地域材加算(うち申請が未確定)	66 戸	
C. 平成27年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)	優良建築物			
	うち申請が確実	0 棟	0 m ²	
	うち申請が未確定	0 棟	0 m ²	
	高度省エネ型(認定低炭素住宅) 合計 8 戸		地域材加算合計 8 戸	
	うち申請が確実	4 戸	地域材加算(うち申請が確実)	4 戸
	うち申請が未確定	4 戸	地域材加算(うち申請が未確定)	4 戸
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) 合計 0 戸		地域材加算合計 0 戸	
	うち申請が確実	0 戸	地域材加算(うち申請が確実)	0 戸
	うち申請が未確定	0 戸	地域材加算(うち申請が未確定)	0 戸
	採択グループへの配分額が決まり次第、過去の実績とアンケート結果をもとに木の郷みえの会グループ事務局で配分する。			

E. 平成26年度の執行状況(H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)	長期優良住宅		完了実績見込み	
	採択戸数	14 戸	交付申請戸数	14 戸
			竣工済	2 戸
			竣工予定	12 戸
木造建築物				
採択棟数	0 棟	採択床面積	0 m ²	

県 番号	構成員 番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ. 木材を扱わない流通						
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 「三重の木」の家	(地域型住宅供給対象地域) 全国
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 木の郷みえの会	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0459-0300	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	柱や土台に関してはヒノキを用いることで、香やその耐久性を活かし、梁桁には天然乾燥材を用いることで、一般の木材に比べて高い調湿性能を活かす。 また腰壁やフローリング等の内装材については可能な限り無垢の木材を活用し、調湿性の向上に加え、体で直接触れた際の快適性や衝撃吸収性を持たせ、視覚的なざらつきも防ぐ。	○
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	梁桁に含水率やヤング係数が明確な三重県産天然乾燥材を4㎡以上使用することで、三重県産木材の魅力である色・艶・香を活かしつつも、信頼性の高く安全な家づくりを行う。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	梁桁について露出させる部分を設け、色艶に優れた三重県産天然乾燥材をデザイン上効果的に使用する。	○
④①～③の背景	三重県の本材は全国的に見ても目が細かく、色艶が赤みがかって美しいものが多い。また見た目の良さに加え、強度や耐久性に関しても全国的な平均と比較し高い値を示すものが多い。そういった三重県の気候風土が作り出した木材そのままの魅力を生かす方法として、天然乾燥材の有効活用を目指している。	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a. ①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	設計委員会とグループの流通事業者でこれまでの物件等を参考にし、グループ内での流通する材料や施工技術を背景とした、効率的な施工方法や標準仕様について検討し、グループ構成員に向けて公開する。 天然乾燥材等の三重県産の横架材を使用する際は、三重県林業研究所発行の三重県産スギ・ヒノキ横架材スパン表に準拠する。	○
②建材・資材調達の見直しや事務の合理化	天然乾燥材に関しては、グループ共通の標準価格表を作成し、ホームページ上のグループ会員専用ページにて構成員に向け常時公開する。	◎
③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	原木・製材・流通・プレカット等からの参加者も加えた設計委員会を年2回開催する。	○
④生産の合理化等に向けた事務局の役割	委員会ですとめられた情報や価格表等について、ホームページ上でグループメンバーに向けて常時公開することで、グループでの生産合理化を図る。	◎
b. ①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	住宅省エネルギー技術施工技術者講習会テキストの断熱施工チェックリスト、あるいはその内容が包含されるチェックリストを活用し、断熱施工が正しく行われているか確認を行う。	◎
②グループの信頼性向上に向けた検査ルール設定	施工者はグループの木材供給業者と協力して使用する天然乾燥材について、住宅購入者に材料の確認または十分な説明を行い、材料の性能やトレーサビリティについて確認を受け、グループ事務局に報告書として提出する。	◎
③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	天然乾燥材に関しては、グループ共通の標準価格表を作成し、ホームページ上のグループ会員専用ページにて構成員に向け常時公開する。	◎
④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	ホームページ上にグループで取り組んだ住宅写真を掲載する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 「三重の木」の家	(地域型住宅供給対象地域) 全国	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 木の郷みえの会	(結成年) 2012年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0459-0300		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化	確認申請時の図面(配置図、平面図、立面図、断面図)、維持保全計画書、メンテナンスの実施報告書を各住宅ごとにまとめたものを、住宅履歴情報として保管する。	◎
	②メンテナンス・リフォーム 基準の整備	施工業者は維持管理計画書を基に計画的なメンテナンスに取り組む。 また長期優良住宅普及促進コンソーシアム「住宅長持ちガイド」を施主に配布することで、自発的な点検や手入れを促す。	○
	③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施	「三重の木」の家対象物件の構造見学会や完成見学会については、グループホームページ上で告知を行う。	○
	④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置	設計委員会で維持管理等についての検討を行う。	○
b	①グループ構成員の倒産廃 業時のバックアップ体制	グループで保管している住宅履歴情報を活用し、グループ構成員の倒産廃業があった際にも、迅速に情報の引き継ぎができる状況を構築する。	◎
	②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備		
その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入			
エ. グループの技術力の向上			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催	認定低炭素住宅に関する勉強会を開催。	○
	②①の研修会等の実施内容 とその開催頻度	認定低炭素住宅の図書作成例を使用した、具体的な申請手続きについての勉強会を年一回行い、その資料内容についてはグループホームページに掲載する。	○
	③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組	梁桁の一部に使用する三重県産天然乾燥材の合法木材は流通量が少ないため、年度毎に天然乾燥材の需給情報を分析し、安定した供給体制の確立に取り組む。	◎
	④③に基づく業種ごとの合 理化への取組	報告時に提出される納品伝票から天然乾燥材の寸法毎の使用量と棟数を集計し、整理した情報をグループの製材・流通事業者に伝達する。	○
b	①省エネ技術講習会への参 加目標人数	施工業者につき省エネ技術講習会参加者を1人置くとし、合計22人を目標とする。	○
	②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組	省エネ技術講習会の開催スケジュール等の情報をグループのメール等にてグループ構成員に連絡する。 また、グループのホームページに住宅省エネルギー技術講習会ホームページへのリンクを貼付け、グループ構成員が省エネ技術講習会情報を随時確認できるように整備する。	◎
c	①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法	住宅建築関連の技術的、法的に目立った話題については、メール及びSNSにて効率的にグループ構成員に情報を通達するような仕組みを作る。またそういった情報の中でとりわけ目立ったものや、グループ構成員から提案があったものについては設計委員会を中心に検討または検証し、ホームページ上で報告する。	◎
	②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等	三重県産天然乾燥材の強度試験や含水率の測定を第三者機関にて調査してもらおう等、品質証明の向上に努める。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 「三重の木」の家	(地域型住宅供給対象地域) 全国	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 木の郷みえの会	(結成年) 2012年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0459-0300		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は○印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	①地域材ごとの使用部位(必須)	全ての土台・柱、また一部の梁・桁に合法木材を使用する。	◎
	②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合(必須)	合法木材を1棟当たり4㎡以上使用する。主要構造材の過半に合法木材を使用する。	◎
	地域材利用に関する共通ルール(必須)	梁・桁に使用する合法木材のうち4㎡は天然乾燥材とする。	◎
	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	住宅施工業者は地域材使用量が確認できるよう納品伝票をとりまとめ、グループ事務局に提出する。	◎
b	①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組み	天然乾燥材で三重県産の合法木材については、木の郷みえの会が把握している在庫・販売価格をウェブ上で確認できるインターネットを活用した在庫管理システムを構築し、グループ構成員との情報共有に役立てる。	◎
	②グループ全体における地域材の需給予測	平成27年度木の郷みえの会では約300㎡の地域材需要が見込まれるが、グループ構成員の地域材供給量が需要量を大幅に上回るため、供給に関する問題はないと予測される。	◎
c	①-1 畳の活用		
	①-2 和瓦の活用	和瓦の使用は義務ではないが、三重県県土整備部景観まちづくり室発行の「三重県景観色彩ガイドライン」に基づく色調の外観を推奨する。	○
	①-3 襖の活用		
	①-4 障子の活用		
	②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用	伝統的な木材乾燥方法である天然乾燥処理を採用し、三重県の木材の色・艶・香を最大限に引き出すことで、三重の風土を活かした特色ある家づくりに取り組む。	◎
d	①地域の伝統的なデザインを継承する取組		
	②地域の住まい方の継承につながる取組		
	③地域の街並み形成へ寄与する取組	グループホームページに、参考資料として三重県県土整備部景観まちづくり室発行の「三重県景観色彩ガイドライン」等を掲載する。	◎
	④和の住まいの要素を取入れた取組		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
東日本大震災の復興に資する取組			
グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。			
木の郷みえの会が取組む認定低炭素住宅の要件として、下記の低炭素化に資する措置一覧の内、⑦を必須とする。			
①節水に資する機器を設置している。 ②雨水、井戸水又は雑排水の利用のための設備を設置している。 ③HEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)又はBEMS(ビルエネルギーマネジメントシステム)を設置している。 ④太陽光等の再生可能エネルギーを利用した発電設備及びそれと連系した定置型の蓄電池を設置している。 ⑤一定のヒートアイランド対策を講じている。 ⑥住宅の劣化の軽減に資する措置を講じている。 ⑦木造住宅若しくは木造建築物である。 ⑧高炉セメント又はフライアッシュセメントを構造耐力上主要な部分に使用している。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

第一回計画変更

業種区分	種別	構成員番号	事業者名	郵便番号	都道府県	住所	電話番号	元請の新築住宅供給戸数 (H26年実績)	元請の新築住宅供給戸数 (直近3年平均)	うち木造長期優良住宅 (H26年実績)	うち木造長期優良住宅 (直近3年平均)	うち木造低炭素住宅 (H26年実績)	うち木造低炭素住宅 (直近3年平均)	うち木造ゼロエネ住宅 (H26年実績)	うち木造ゼロエネ住宅 (直近3年平均)	優良建築物着工床面積 (H26年実績)	優良建築物着工床面積 (直近3年平均)	長期優良住宅に関する補助金の活用実績	ゼロエネ住宅に関する補助金の活用実績	優良建築物に関する補助金の活用実績	被災地に該当	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定	
施工	新規登録	VI-58	高松銘木店	591-8034	大阪府	堺市北区百舌鳥陵南町	072-277-8858	7	7	1	1	0	0	0	0			○					○	